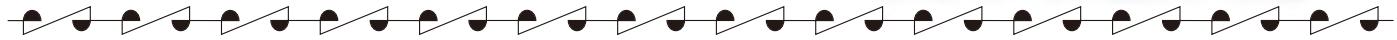


9月1日は「防災の日」 8月30日から9月5日は「防災週間」



地震ハザードマップの活用を！

3月11日に発生した「東日本大震災」では、地震と津波によって甚大な被害をもたらしました。

町では、深谷断層を震源とする地震と町直下で発生する地震を想定し、地震の揺れと建物の危険度を示した「皆野町地震ハザードマップ」を平成21年2月に作成し、全戸へ配付しました。この地震ハザードマップを身近な場所に置いていただき、家庭や職場、地域などでの防災活動や防災意識の向上にぜひご活用ください。紛失などでご不明な場合には、総務課窓口で配付します。

また、今後の防災について、ご意見などございましたら、総務課企画政策防災担当までお知らせください。

いつどこで起こるかわからないのが災害です。災害が起きた時、家族全員がいっしょにいるとは限りません。そんな時でも、あらかじめ避難場所を決めておけば安心です。日ごろから家族全員で避難場所までの道順を決めておきましょう。

また、災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」といった住民の皆さんとの協力が必要となります。町には行政区を主体とした「自主防災会」が組織されています。いざという時、自分を守るのは、まず自分自身、そして隣近所など地域住民の助け合いです。日ごろから災害時に援護を必要とする方と交流(あいさつ)をもつなど、災害に強い地域づくりを進めましょう。



皆野町地域防災計画指定の避難場所

- 皆野地区 町民運動公園、総合センター、柔剣道場、皆野小学校、皆野中学校、皆野スポーツ公園
- 国神地区 転作研修センター、皆野幼稚園、長生荘、国神小学校、自然休養村管理所、皆野高校
- 日野沢地区 日野沢生活改善センター、水と緑のふれあい館、わく・ワクセンター
- 金沢地区 金沢生活改善センター、金沢小学校
- 三沢地区 三沢農業集落センター、三沢小学校

非常時に必要となるものを準備しておきましょう。

また、定期的に点検し、古くなったものは交換しておきましょう。

持ち出し品

欲張らずに、必要最小限の物をリュックなどに入れて持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

- ヘルメット・防災ずきん ■懐中電灯（予備電池） ■携帯ラジオ（予備電池） ■非常食（乾パンなど）
- 水（ペットボトル入りのもの） ■薬 ■生活用品（衣類、軍手、ナイフ、ライターなど）

備蓄品

災害復旧までの数日間を自足するためのものです。家族全員が3日を過ごせる量を用意しておきましょう。

- 非常食（レトルト食品、缶詰、インスタントラーメン、チョコレート、調味料など）
- 水（飲料水は1人1日3リットルが目安）
- 生活用品（カセットコンロ、毛布、衣類、生理用品など）
- 工具類（スコップ、バール、のこぎりなど）

問合せ 総務課企画政策防災担当

☎62-1231